

会 議 録

作成日 令和8年1月27日

日	令和8年1月27日(火)	時間	19:00~19:49	場所	ヒスイ王国館2階
件名	旧東北電力ビル等解体工事 説明会				
出席者	(敬称略) 糸魚川市 こども課 室橋課長、田村課長補佐(司会)、能登係長 都市政策課 内山課長、伊井課長補佐、高畑係長 谷村・猪又特定共同企業体 (株)谷村建設 建設本部建築部 小竹部長 建築課 久保埜係長(現場代理人、監理技術者) 営業本部 営業部 渡邊係長 (株)猪又建設 渡辺建築課長(主任技術者) 鈴木営業課長				
	来場者数	22名			

会議要旨

1 あいさつ 室橋こども課長

2 工事説明 =別紙資料のとおり=

3 質疑応答(類似内容は統合)

Q1: 家屋調査の事前連絡はあるか、日程調整はどうするか?

A1: 事前に意向確認(訪問または投函)を行い、同意が得られた家屋について日程調整して訪問・調査する。留守等の場合は再訪問やポスト投函で案内する。

Q2: 隣接するビル対策は?倒壊や損傷防止はどうするか?

A2: 市では隣接ビルの解体意向があるため、特段の用意はないが、状況に応じて検討する。

Q3: 施工JVはアスベスト除去の経験があるか?

A3: 会社としては実績多数。担当の渡辺氏は経験者。

Q4: 北側ピロティのもこもこした物質はアスベストか?

A4: その物質を分析したところ、アスベストの含有は確認されなかった。

Q5: 騒音 85dB の感覚は?どのくらいうるさいのか、影響は?

A7: 感覚的にはゲームセンター程度の騒音(パチンコ店ほどではない)。規制値は一定期間の統計処理で算出されるため瞬間最大値がそのまま基準値ではない。解体工事中は一定の騒音・振動は避けられないので理解と協力を求める。

Q6: 解体方法について(先回の説明会で意見があった、上階から小型重機で壊す方法などの選択肢)

A6: 複数方法(屋上に小型重機を置いて上から順に壊す方法、地上から長アーム重機で壊す方法など)があり一長一短。JVは今回の外側から腕の長い重機で解体する方法を選択した。

Q7: 家屋調査の範囲・回数は？工事後の再調査はあるか？

A7: 工事前に外部・内部（同意が得られれば）を調査し記録。工事完了後に市から連絡を行い、異常が報告された場合は再調査を実施する。

Q8: 現場窓口（連絡先）と現場事務所の常駐状況は？緊急時の連絡はどうか？

A8: 現場事務所は常駐予定。電話回線が整わない可能性があるため、施工者の携帯番号を周知し、現場窓口を一本化して対応。解決できない場合は市の都市政策課へ連絡する。

Q9: 北側に掲示板（告知掲示）の設置箇所を増やしてほしい。工事車両の通行経路について

A9: 掲示板の箇所は増やす予定。工事車両は主に佐々木質店側から出入りする予定。

Q10: 工事時間（8:00～17:00）中の騒音や生活への影響はどの程度か？

A10: 工事時間内は作業に伴う騒音・振動が発生する可能性が高く、重機のエンジン始動や準備作業が作業開始前に発生することもある。極力配慮するが「全く無い」とは断言できない旨説明。

Q11: 基礎（地中埋設物）は撤去するのか？ 振動はどうか？

A11: 今回の工事では建物基礎は残置する。そのため、地中掘削に伴う大きな振動は発生しない見込み。1階床のコンクリート等は撤去する。

補足・今後の対応予定

- 近隣住民への案内文書・意向確認（家屋調査の案内）を順次配布・訪問予定（2月中旬以降）。
- 連絡体制（現場携帯／事務所／市窓口）について周知する。